

# これからの小中学校についての意見交換会 意見集約

(5/25 西部地域センター、6/1 南部構造センター、6/7 北部多目的センター、  
6/15 鷺津コミュニティ防災センター、6/23 新居地域センター)

## 【これからの小中学校に関すること】

- ・白須賀小中学校は、存続させるべきである。
- ・地域から学校がなくなると、さらに過疎化が進む。学校は教育施設だが、地域コミュニティの拠点でもある。
- ・鷺津と岡崎と新居は生徒数が多いので、白須賀では、その3校から希望者を受け入れれば、生徒数が増えるのではないか。
- ・北部地区は、少人数でも、複式学級でも小学校を残し、校舎の中に多目的センターをつくるような公共の複合施設として残して欲しいと思う。
- ・幼稚園も保育園も小学校も中学校も一つのエリアの中で考えれば、そこに老人クラブが入るといった複合施設的なことを考えてもいいのではないか。岡崎地区はやりやすい。
- ・小中一体型の校舎で建物が新しくなると言っているが、現場の子どもたちの教育環境を考えたときに、今の3校ある方が充実していると思う。
- ・小中一貫校の施設だが、今の湖西中のところでできるのか疑問に思う。教室の数、プール、部屋の広さ、遊具などの面で今後考えていかなければいけないところがたくさんある。
- ・提言に沿って計画達成、実現ということであれば、その道筋、計画をきちんと出してもらわなければいけないと思う。
- ・先生方の多忙化も解消しながら、小規模校の子どもたちへのきめ細かな教育ができる環境を、地域のみなさんが声を挙げて欲しいと思う。
- ・北部地区の統合はある程度理解できる。しかし、白須賀地区が変わらないとすると、北部地区の方の理解が得られないのではないか。
- ・白須賀地区の学校にエレベーターを付けて充実させるという話は、特別支援教育の充実を図りたいということだが、肢体不自由の児童が市内にどれくらいいるのか、市外からの受け入れは可能なのかなども気になる。
- ・今後の方向性がある程度決まっているのであれば、考えを押し出し、理解を得ていく方が前向きではないかと感じる。
- ・以前、岡崎中学校を作ることは無駄であると言っていた方がいたが、その時点で昨今の人口下降線が見えていたのだと思う。
- ・児童が少なくなってくると、集団登校が難しくなる。しかし、小中一貫校で集団登校を小中で考えるのもこれからの方向付けになるのではないか。
- ・統合となると通学距離が長くなり、送り迎えが増え保護者の負担が増える。そうならないために、自転車で通えるように通学路を整備してほしい。
- ・仮に小中一体型に統合したときに、一概に遠くなるわけではないが、遠くまで通うとなった場合は、行政としてスクールバスはやるべきである。
- ・統廃合により通学距離が長くなるならば、スクールバスも考えて欲しい。現在でもコーち

- キャンバスを利用している子がいるが、朝だけで帰りの問題がある。その点も考えて欲しい。
- ・北部地区の小中一体型の話を聞いたときに、東小・知波田小・湖西中はすごくつながりがあって、交流も多いので、大人にとっては学校がなくなるというのがあるが、子どもたちは意外と対応できるのではないか。
  - ・湖西市は6万人弱の人口で11校の小中学校を抱えている。教育行政の効率からしても、全体を見るととても効率が悪い。それが積み重なっていくと、サービスが悪くなり人が離れていくことに繋がってしまわないか一番懸念している。

## 【学校規模に関すること】

- ・大規模には大規模の、小規模には小規模の利点がある。小学校の1学級は20人以上が望ましいとしているが、理由が分からない。十数人の学級は非常に落ち着いてゆとりがある。
- ・生徒一人一人に目の行き届くのびのびした環境で子どもたちが育つ少人数ならではのメリットもあるかと思うが、さすがにここまで生徒数が減ってきては、季節恒例行事や部活動も成り立たなくなり、学業や運動で同じ目線の子どもたち同士で切磋琢磨する意識は薄れていくことは免れないと思われる。
- ・望ましい規模は、1学年で言うと3学級、ところが30人しかいないので、あるべき姿との乖離がものすごく激しい。そして、これを進めようとしている。大きな問題があると思う。枠組みを変えないといけないと思う。
- ・小規模である白須賀地区は、幼稚園から12年間、過ごしているので、親になってもお父さん、お母さんが分かる。それはものすごい安心である。

## 【教育に関すること】

- ・人数が少ないからだめとか、多いからいいではなく、きめ細かい湖西市らしい教育構想をもって、小規模校が充実すれば、他のところから入ってくるかもしれない。
- ・人づくりと言っている以上は、人づくりのためにお金を使ってほしいと思う。
- ・コミュニティスクールが始まったところで、統廃合ですと言ったら、力が抜けてしまう。
- ・白須賀地区は、統廃合ありきではなく、市でデジタル化を推進していくということなので、他の学校とつながることで、1学級しかないところを2学級にする、そういうことをやってみることが必要ではないか。

## 【教育予算に関すること】

- ・人づくりをするために学校にお金を落として、もっと子どもたちの教育環境を整えて欲しい。
- ・統廃合の最大の理由として、人口減少時代における財政面の課題が最も大きいことは事実だと思う。今はこの部分をなるべく見せないようにして統廃合のメリットなどを説明しているように見受けられ、それが原因で本質から外れてしまっているような感じを受ける。
- ・教育的効果と言っているが、実際のところは経営的な面が大きいのではないか。

## 【適正化検討委員会報告書に関すること】

- ・検討委員が、どれくらい小規模校の現場へ視察に来たのか。せめて、現場を見てからの提言ではないか。
- ・適正化検討委員会は、学校関係者や保護者も入っているが、本音と建て前を使い分けてないだろうか、市の意向に沿った結果を出しているのではないか。
- ・メリット、デメリットを公平に、正確に提示してほしい。
- ・提言なのか、報告書なのかの整理をしたい。
- ・提言の内容は理解できるが、学校がなくなるのは嫌だという思いがすごく強く出る場合があると思う。それに対して、市や教育に携わる人が強い気持ちを持たないと、なかなか進まない話だと思う。
- ・この提言は、あくまでもこの検討委員会に集まった人たちの意見だが、もっと広く、これからもっと子どもが減るという前提に立って、そういった情報を調査して行ってほしい。

## 【意見収集、アンケートに関すること】

- ・何と言っても小中学校について統廃合というのが難しい問題である。地域の住民の意見を聞くことが、検討委員会の中でも少ないことが一番の問題である。
- ・知波田小学校区だけでも約950世帯あるので、賛成意見も反対意見もあるだろうが、とにかく全世帯でアンケートを取って意思を確認するべきである。
- ・教育を中心に考えれば、まず現場の先生方、職員、現在学童児をもっている保護者、これから入学するであろう幼児をもつ若い保護者、これらの声を幅広く聞いてほしいと思う。
- ・現役世代の方々の意見をしっかり聞いて、それらを踏まえて対応していただきたい。
- ・北部地区が厳しい状況で、学校の統合に反対などの意見も聞いている。個人的な意見もわかるが、湖西市全体の話なので、自治会や住民の意見をよく聞いて進めて欲しい。

## 【意見交換の視点に関すること】

- ・人づくりを進めることができる環境を作る（守る）という視点で、小中一貫や最低人数の確保の必要性やメリットの議論はできないか。それこそが、子供のことを第一に考えることが大人の視点（役目）ではないかと思う。
- ・子どものことを一番中心に考えたら、何が一番いいのか、将来的には、やはり考えてやらなければいけないはずである。子どもをどうしてやるのが一番いいのか、地域づくりはどうしていくのか、本気で考えなければいけない。
- ・キーワードは「子どもにとって一番」。大人や地域にはいろんな思いがあると思うが、子どもにとって一番いいように考えなくてはいけない。
- ・なかなか難しい問題であり、15年、20年経ってから結論が出るような話だと思うので、長い目で、子どもたちの教育のために頑張りたい。
- ・子どもたちにとってより良い学びの場、よりよい成長の場を用意するためには、なかなか進まないところに時間を費やすよりも、みんなが早くやった方がいいという所を先に進め

るのもいいのではないか。

- ・北部地区の意見交換会参加、市の関係者、地域のみなさん含めて、知波田小学校、東小学校、湖西中学校を盛り立てていくために協力をお願いしたい。
- ・小学校や中学校をもっと公開し、地域の問題が何か、学校はどうか分かるようにしていかなければいけないと思う。もっと公開していただければ、何度も見に行く。
- ・湖西中を卒業したが、今、小中学生の保護者である同級生の声を聞くと、自分たちが子どもころは友達がたくさんいて、たくさんの学びの機会があった。正直、早く統廃合も考えて欲しいという声は非常にある。しかし、地元地域の方にしてみれば、自分たちが親しんだ学校がなくなるという寂しい思い、地域がどうなるのかという思いを感じる人も多いと思う。一番大事にして欲しいのは、子どもの学びの場がどのような環境になっているのか、それを支える保護者の考えも一番に考えて欲しい。それと同時に、今まで学校という地域の拠点があった場所をどのように活用していくのかも十分地域の方々と検討していただきたい。
- ・両親共働きの核家族だと、送迎もままならない。通学の問題は重きを置いて考えたい。
- ・地域というのはもちろん大事だが、もっと広く、湖西市を一つの地域として、学校がたとえ幾つになってもみんなで支えるという形で考えられないか。既存の行政区に縛られすぎると結局はどんどん効率を落としていくことにはならないか。

## 【市の施策に関すること】

- ・白須賀は調整区域と農業振興区域ばかりで、家が建つところがない。都市計画などで住宅区域を増やさないといけない、そういう方向へいく方針が全然出ていない。
- ・学校の子供たちの教育環境は大切だが、そこに地域の振興、街づくりがあってこそその話。そこはセットで考えないといけない。
- ・なぜか北部と南部は我慢しなさいと、学校なくなりますよと、でも鷺津など人口が多いところはいろんな施設があって、非常に利便性が高い、なんか釈然としないところがある。同じように市民なのに、そこに格差ができてきているというのは、やはり問題ではないかと思う。
- ・行政全部、市長部局から社会教育から全部が集まって、きちんと検討しないといけないと思う。これからの湖西市は、人づくりのために頑張ってもらいたいと思う。
- ・白須賀の場合、長谷に処理場があり、笠子に最終処分場がある。それらをつくる時に、なぜ白須賀へ持ってくるのかと言って、白須賀の自治会は大反対した。その時に、つくらせてもらう代わりに、白須賀地区については特別な配慮をするという話で、できた。みんなが賛成して作った覚えはない。そういう配慮を湖西市で今までしてきたのか、何もしていない。
- ・小中学校の人数が減ってきていることが根底にあるが、その大元はやはり、湖西市の人口が減ってきていることである。定住支援制度などを、市全体では進めていると思う。ただ、北部地区についての人口増の対策は漏れていて、そこから手を付けて行かないといけない。
- ・北部地区、南部地区に50年の間に地域の活性化策、人口増加策をどのようにやってきたのか、これを伺いたい。
- ・保育園の保護者同士の意見でも、住宅を含めた育児教育環境としてはやはり鷺津か新所原

の2択に特化しており、わざわざ知波田や新所にと考える方は皆無に等しい。少人数校区在住の方でも家を建てる土地がなく、子どもの学校の件も考えた結果、実際に学区外に出ていく家庭もある。

- まちづくりの観点からするとコンパクトシティというのをやっているが、非常に評判が悪い。何が悪いかというと、集落のことを考えていない。
- 人口が減るとそれに伴って子どもたちの数も減る、それが、人口はあまり減らないけど、今急激に子どもが減っている。子どもだけの話ではないような気がする、大人2人に子ども1人という時代ではなくなってくる気がする。
- 人口が減少していくことが予想されていることへの対応ということだが、人口を増やすという目標でいけば、多少考え方が変わってくるところもあると思う。
- 保護者世代である同級生を見てみると、子どもを育てやすい環境にある市、町に引っ越ししてしまっている。湖西市も子どもを育てやすい環境を整えば、転出する人が減り、外からも人を呼べるのではないか。
- 新聞でも報道されていたが、出生率が1.3となっており、1.41と言っていた時代から減っている。鷺津地区でも100世帯ぐらいで小学生が1人もいないところが出てきている。将来推計はもっと厳しい見方で数字を作った方がいいのではないか。
- 住みたくても家が建てられない、農地から宅地に変えられないともめているケースがある一方、道路にかかったときは、すんなり宅地認定がとおったりしている。市の中でももう少しやりやすくしてくれれば、もっと人が来やすくなるのではないか。
- 日本全国見れば、湖西市はまだ減少率が少ない方ではないか。